

きずな

基本理念

「信頼」と「貢献」

患者様の権利を尊重し、理解と納得に基づいた思いやりのある医療を行い、愛され「信頼」される病院を目指します。

地域の方々の健康増進と生命を守るために、また中核病院として地域の医療水準の向上に「貢献」します。

基本方針

- 1 医の倫理に基づき、すべての方々に平等に人格、権利を尊重し、心のこもった医療を提供します。
- 2 常に自己研鑽に努め、高度で質の高い医療を提供します。
- 3 病院内の各部門が相互に協力・連携し、安全な医療を提供します。
- 4 他病院、他診療所等と連携を図り、地域の医療の貢献に努めます。
- 5 医療を通して地域の方々に安心と信頼を得られるよう努めます。

CONTENTS March 2012

02 日本の医療の現状

04 市立湖西病院改革プラン評価の概要

06 市民健康講座を開催しました～報告とお礼～ 看護部実績発表会のポスター展示

07 介護予防教室の紹介

管理栄養士がすすめる健康レシピVol.3

お知らせ

08 市制施行40周年記念市立湖西病院健康まつり 看護師募集

(循環)

環器内科医師紹介

市立湖西病院 院長

寺田 肇

日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医

「最近の医事紛争をみていると医療者と患者様との間で意識の違いが根本にあるように感じます。これくらいのことは解っていて当然と思うことなく、解りやすくご説明することが重要と考えています。今まで、患者様やご家族の方が理解されていないことを医療者が解っていなかったのではと思っています。今回のきずなでは、日本の医療事情を概説しました。」

Vol.

10

日本の医療の現状

市立湖西病院院長 **寺田 肇**

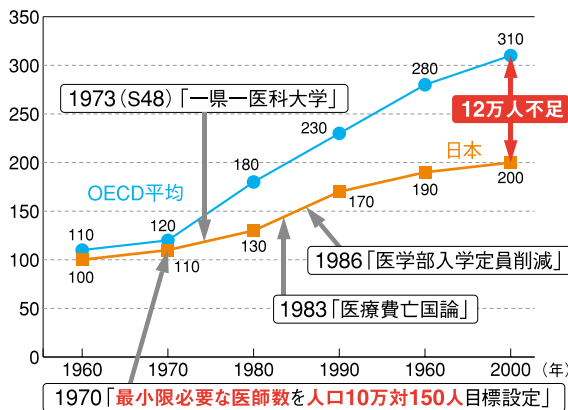
はじめに

医師や看護師不足を原因とした医療崩壊という表現がされるようになってから数年がたち、当院も診療科の減少があり市民の皆様にご迷惑をおかけしております。この機会に医療崩壊の原因や日本の医療の現状及び今後の対策に関して市民の皆様にご理解をいただくため情報提供をさせていただきます。

現場医療が抱える問題は、医学の進歩と高齢化に伴う人手不足と、国民の医療への過度の期待と信頼の低下にあると考えられます。現場の問題意識と乖離する制度改革がこれに加わっていると考えられます。

日本の医師数(図1)や対GDP比医療費(図2)は、OECD加盟国のなかでも最下位レベル

1973年に二県二医学部の設置を推進することが決定され浜松医科大学も静岡県唯一の医学部として1980年に開校されましたが、1983年には人口10万人当りの医師数は目標の150人に達しませんでした。この間に産婦人科、救急、小児科などで現場からは医師不足が

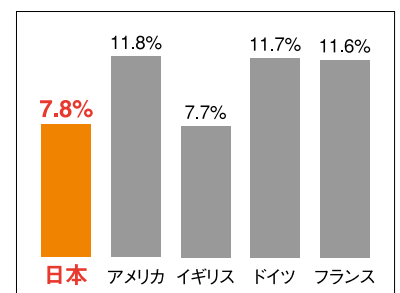


● 図1 日本の医師数

指摘されていましたが、2008年の政策の転換まで厚生労働省は医師は不足していないが、特定の診療科や地域で偏在のため問題があるとの立場でした。この間に、医療技術の進歩に伴い診療科は細分され医師の需要が増加しているにもかかわらず、医師の養成数は減らされたままでした。

前述の医師数の絶対的不足に加えて2004年に新臨床研修医制度が開始され、都会の大病院に研修医が集中することになりました。大学病院も研修医が不足し、大学医局からの医師の派遣が不能となり地方の病院の医師不足に拍車をかけることとなりました。

また、医師不足だけでなく患者7名に



● 図2 国民所得に占める国民医療費(98年)の割合は先進国中最低

出所:「保険と年金の動向」より作成

日本の医療の質と患者さんの満足度(図3)

医師数と同様に日本の国民総医療費は、対GDP比で、OECD参加国の下位3カ国の常連なのです。つまり、日本の医療費は実は極端に安いのです。例えば盲腸の手術は、日本では7日間で34・6万円、アメリカは二泊で24・3万円、香港4日152万円、台北5日64万円です。

少ない診療報酬の中で限られた人材で働いているのが現在の医療現場なのです。

サッカーワールドカップのなでしこジャパンの優勝は知らない人はいないと思いますが、

日本の医療は、WHOから世界1位と評価されていることはほとんど知られていません。これには、食生活、衛生状況や勤勉な国民性も関与していると思いますが、国民皆保険を通じて病気の時に医療機関に自由に受診できる制度が貢献しています。一般的に医療を含む公的サービスにおいてアクセス、コスト、質の3つの要素すべてを満足させることは不可能とされています。この面では、質は特殊な高度医療は別として一般的な医療をだれでも受けることができるのが日本の現状です。一方、コストに関しては、高齢化社会の到来で医療費の増加が懸念されていますが、前述したとおり日本の国民総医療費は、OECD参加国の下位3カ国の常連なのです。

このように考えると、実はそこでこのコストでかなり質の高い医療を国民全体に提供してきたといえます。ところが、興味深いことに日本人の医療に対する満足度は、質が劣っていると考えられる諸外国に比べて、むしろ低いとのアンケート結果が出ています。日本人の完璧を求める氣質が表れていると思います。

医療訴訟と勤務医の労働

当院では2008年から分娩の取り扱いを中止しており市民の皆様にご迷惑を

おかけして申し訳なく思っております。分娩は予測できない事態が発生し、緊急で対応しないと不幸な結果にもなりかねない診療科です。このため、産科では必ず一人の先生は病院に365日24時間待機している体制を取らねばなりません。日本の周産期死亡率は世界1位の少なさですが、このような診療体制で実現できたことです。最低3人の産婦人科医が勤務している状態でない勤務医が疲弊してしまっています。

この間に、福島県立大野病院の産婦人科医が前置胎盤に合併した癒着胎盤というまれな分娩合併症で妊婦さんが死亡され、業務上過失致死で逮捕されるという事例がありました。この事例は無罪となりましたが、医療現場に対する衝撃は非常に大きなものでありました。医療者にとって常識である医療の不確実性が、非医療者の方々にとっては受け入れ難い状況になることがあるのだと思います。また、医療者が患者さん側が理解されていないということを知っておくことも重要と考えられます。

産科医療の他に救急医療も問題となっております。救命救急センターをもつ大病院以外の日本のほとんどの地方の病院では、病院の当直医が時間外の患者さんを診察し、緊急処置や入院が必要であれば

待機の専門医師が対応する体制を取ってきました。夜間は昼間の診療体制と異なっており、救急疾患の発見が主になっていることをご理解いただいて受診していただければと思います。昼間と同じ一般診療を専門医師にしてもらうことを要求されるモニターペイシェントの一部の方は、このような体制を知らないための過度の要求かもしれません。兵庫県立柏原病院では、小児科の入院診療の危機に際して地域のお母さん方が地域医療を守る会を結成し、小児の発熱疾患の対処法やコンビニ受診抑制のパンフレット作成などの活動を通じて、病院小児科医師をサポートした事例があります。この病院の小児科医師は、この地域に必要とされていることが実感されたコメントされていました。

人員が少ないと当直明けの外來勤務や時に手術も行わなければなりません。当院では当直の回数を減らすため浜松医科大学の医師にも依頼し、常勤医の回数を3回／月程度まで減らすようにしています。

医療再生のために

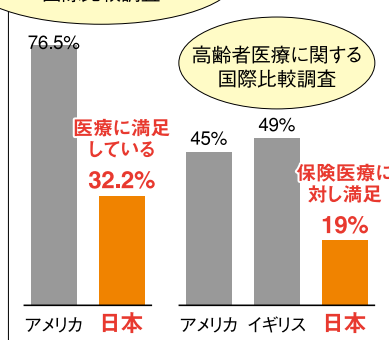
妊婦さんや救急搬送の応需不能や地方病院の診療科の閉鎖などの問題を受け、政府は2008年に医師定員の増加

に舵をきることとなりました。また、地方出身者の入学地域枠制度や県による奨学金制度で卒後研修の県内実施や地域医療再生基金を利用した周産期センターや研修医の県内定着をはかるため後期研修システムの構築などを行っています。当院では、浜松医科大学の初期研修医協力病院や静岡県ふじのくに専門医研修ネットワークプログラムに参加しています。また、浜松医科大学の1、2年生の地域医療実習を行っています。

医師養成数の増加から実際に充実した診療ができる医師が育つまでには10年がかかるといわれています。

まだまだ、苦しい状態ではありますが、私達にとって嬉しいことは患者さんに医療を通じて貢献でき信頼を得て感謝されることです。当院の基本理念である「信頼と貢献」のため地域の方々のご理解とご支援をお願いいたします。

高齢者の生活と意識に関する国際比較調査



● 図3 医療サービスに対する満足度

主な施策	平成22年度の取り組み	平成22年度の目標値と達成状況
人工透析患者の増加に対応するため、病床を増やす。	患者数は、建設当時28人であったが、平成21年度末で32人、平成22年度末は48人であった。	○ 平成22年度は、42人を目標値とした。 実績は、取り組みのとおり。
早期の電話による催告・催告状等の文書による催告を強化する。	催告状は、診療のあった翌月末に送付し、その後、毎月末にも送付した。臨戸徴収は、毎月定例的に行った。	○ 現年度分の収納率を前年度より0.1ポイント引き上げることを目標値に設定した。 実績では、99.9%(5月末)であった。
人間ドックの結果により、要受診者への受診の案内を送付し、追跡調査を実施する。	当院で受診を希望される場合は、健診センターで予約を受けて実施した。平成21年度の受診率は24%であり、平成22年度は59.9%であった。	○ 平成22年度の受診率27%を目標値に設置した。 実績は、取り組みのとおり。
使用料及び手数料の見直しを行う。	特定検診の集合契約がA契約とB契約があるものを、B契約に一本化した。それにより、約600万円の収益増となった。	○ 特定検診の集合契約がA契約とB契約があるものを、B契約に一本化することを目標値とした。 実績は、取り組みのとおり。
既存の業務委託について、長期継続契約を導入して委託経費を削減する。	平成22年度においては、患者給食業務(加工費)、設備総合管理、設備保守、洗濯及びリネン管理業務の4業務について長期契約を導入した。それにより3年間で約770万円の予算削減を行った。	○ 4業務に関して長期契約すること、また、他業務についても長期契約について検討することを目標値とした。 実績は、取り組みのとおり。
診療材料の納入単価を民間病院と比較し、高価なものは低価格を図る。	他病院の納入単価と比較して高額なものは引き下げをした。平成22年度では、323品目中、27品目の回答があり、24品目は当院が安く納入していた。3品目については、交渉により引き下げることができた。	○ 他病院と比較して高額なものについては、すべて引き下げること目標値とした。 実績は、取り組みのとおり。
毎年、患者満足度調査や接遇研修等を実施する。	平成22年度から医療事務委託者をニチイ学館に変更したため、アンケート調査を10月に実施した。外来は、10月18日～27日、入院は、10月18日～12月末まで実施した。	○ 患者満足度の加重平均を1.45にすることを目標値に設定した。 実績では、1.47であった。
主要疾病毎にクリニカルパスを作成し、活用する。	平成22年度では、9つのパスを策定し、3つのパスの削減を行った。現在、当院のパスは入院と外来72のパスである。利用率は、18.5%であった。	○ 毎年、1から2のパスを策定し、利用率を25年度までに20%を目標値に設定した。 実績は、取り組みのとおり。
ソーシャルワーカーを確保し、患者からの退院相談等に応じる体制をつくる。	ソーシャルワーカーを平成22年4月から1人配置した。 退院調整においては、相談者194人、2,105件、一般相談は、115人、223件の合計309人、2,328件であった。	○ 退院調整及び一般相談人数200人を目標値と設定した。 実績は、取り組みのとおり。
市民健康講座を開催し、健康予防を図る。	浜松医科大学へ講師依頼をして、11月に市民を対象とした健康講座を開催した。	○ 年1回の健康講座の開催を目標値に設定し、11月に市民を対象に開催した。
病院まつり等を開催し、親しまれる病院づくりを図る。	平成22年度は、東日本大震災が発生したためアンサンブルコンサートは中止したが、ウォーキング教室、簡易健康診断、栄養科ブースは開催した。	○ 年1回の健康まつりの開催を目標値に設定し、3月に開催した。
病院広報誌やホームページを充実し、情報提供を積極的に行う。	広報「きずな」を年3回発行した。 ホームページは、見やすいものにするため業者から提案を受けたので、平成22年度中に掲載内容を検討した。	○ 広報「きずな」の発行を年3回、ホームページをリアルタイムで修正することを目標値とした。 実績は、取り組みのとおり。
外来診療の進行状況表示などの適切な案内情報(一声運動)を提供する。	外来案内ディスプレイに待ち時間を表示している。 また、重篤患者及び救急患者の診療時には、順番が前後する旨を掲示した。	○ 待ち時間を患者さんに分かるように工夫することを目標値に設定した。 実績は、取り組みのとおり。

注) ○は達成、×は未達成、△は一部達成しましたが目標値に至らなかったことを示します。

詳細はホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。(URL◎<http://www.hospital.kosai.shizuoka.jp/>)

市立湖西病院改革プラン 評価の概要

平成21年3月に策定しました市立湖西病院改革プランに基づき、経営改革に取り組んでまいりました。この度平成22年度における取り組みと評価について改革プラン評価委員会に報告いたしました。その内容をお知らせします。

1 平成22年度数値目標の状況

項目	プラン目標	実績	比較	達成の可否
経常収支比率	98.3%	99.2%	0.9%	○
医業収支比率	76.8%	77.7%	0.9%	○
職員給与費対医業収益比率	56.4%	60.1%	3.7%	×
病床利用率	64.0%	44.2%	▲19.8%	※×
入院患者1人1日当り診療報酬	33,700円	38,100円	4,400円	○
外来患者1人1日当り診療報酬	8,000円	8,400円	400円	○
年間入院患者数	46,720人	32,251人	▲14,469人	※×
年間外来患者数	89,915人	89,013人	▲902人	※×

※病床利用率、年間入院患者数及び年間外来患者数につきましては、常勤医師の確保ができなかったため未達成となりました。

2 目標達成のための取り組みに対する評価（主な内容を抜粋）

主な施策	平成22年度の取り組み	平成22年度の目標値と達成状況
女性・退職医師等のライフワークに即した医師を雇用する。	健診センターに休業医師を、小児科外来、内科(糖尿病)外来に女性医師を非常勤として採用した。今後も診療科の補充等を検討した中で、非常勤医師の採用を積極的に行う。	○ 各診療科で医師の補充が無い場合、その補充を目標とした。 実績は、取り組みのとおりの。
業績による特別手当を支給する。	業績による特別手当の支給は、湖西市の勤務評定に合わせる。医師の業績手当については、平成22年度で研究した。支給は平成23年度からとする。	○ 医師業績手当を研究することを目標にした。 平成23年5月から支給することになった。
大学院生を採用する。	平成20年10月に規定を設け、浜松医科大学と協定を締結し、かつ各教授へ制度の紹介を行った。また、修学資金の活用をホームページに掲載した。	× 大学院生1名の採用を目標値に設定したが、実績は0であった。
医師の業務軽減のため、非常勤嘱託医を増員する。	浜松医科大学へ日直・宿直の医師派遣を引き続きお願いした。また、医師業務軽減を図るため、2名の医師事務補助員を採用し、平成23年4月から点数加算ができるよう研修を開始した。	○ 2名の医師事務補助員を設置することを目標値に設定した。 2名を採用し、平成23年4月から点数加算ができるよう研修を開始した。
病診連携を強化し、診療所からの検査依頼、オープンベッドの利活用を促進する。	検査受託は、平成22年度608件で、収入は9,695,664円であった。開放型病床の件数は、平成22年度51件で、収入は、35,137,812円であった。	○ 連携する医療機関を1件増やすことを目標値とした。 実績では、浜松市の歯科と契約した。また、新たな整形外科が開業したら、お話をする。
診療報酬の請求ミスをなくすため、レセプトチェックシステムを導入する。	本稼働後、平成22年度 19,572件の請求前エラーを抽出し、請求ミスの防止を図った。	× 当初エラーの抽出を1か月1,500件以下を目標値に設定。 実績は、1,631件/月であった。
外来化学療法を実施する。	平成22年6月外来化学療法加算2の届出を受理されたことにより、外来化学療法を開始した。平成22年度の実績は、8人の患者様で42回実施した。	△ 外来化学療法室の利用回数100回を目標値に設定した。 実績は、取り組みのとおりの。

市民健康講座を開催しました～報告とお礼～

“開かれた病院”を目指して、9月より月1回5か月にわたり市民健康講座を開催いたしました。本年度初の試みでしたが、20代から70代まで多数の市民の方にご参加いただき、ありがとうございました。日頃気になってはいるものの、なかなか受診時には聞けないこと、超高齢化社会に向け知っておきたい知識や技術、原発事故で話題となった放射線についての講義など、当院の医師、薬剤師、看護師、理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師などが市民の皆様の視点で、分かりやすく講義や実技を行いました。講義終了後の質問コーナーにはたくさんの質問が寄せられ、市民の皆様の健康に関する

意識の高さを実感いたしました。同時に、病院スタッフとして“開かれた病院”作りに尽力していかなければという使命感を再認識しています。どの講座も皆様の今後の生活に役立てていただけるものと思っていますので、ご家族や地域の皆様にも講座の内容を伝えていただき、湖西市全体の健康管理に対する意識の向上につながればと思います。定期開催を期待される声も多く、認知症やメンタルヘルスについてなど、講座のテーマに関するリクエストも数多く寄せられています。次年度もさらに分かりやすく、皆様の生活に密着したテーマで講座を開催できるよう努力してまいりますので、どうぞご期待ください。

23年度 開催の講座

開催日	講座名	内容	参加者(名)
9月17日	呼吸法セミナー	●呼吸のメカニズムと疾患予防 ●生活の中での注意や疲労回復のポイント	23
10月15日	らくらく家庭介護	●無理せず長続きする介護のコツ ●福祉制度の活用について	21
11月19日	糖尿病講座Ⅰ	●糖尿病について ●検査結果について ●薬物療法について	37
12月17日	糖尿病講座Ⅱ	●運動療法について ●食事療法について	38
1月21日	今時の医療画像	●医療機器と画像の紹介 ●医療被曝Q&A	23



● 第2回らくらく家庭介護
ベッドから車椅子への移動を体験していただきました



● 第3回糖尿病講座Ⅰ
検査結果について臨床検査技師からの講義

看護部実績発表会のポスター展示

既にご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、2月3日に行った看護部実績発表会で発表した内容を1階中央待合ホールにポスターで展示しています。これは、看護部の各部署で1年間の目標を立てて取り組んだ内容の成果をまとめたものです。

3月16日までは1階中央待合ホールに、3月17日に開催する健康まつりの際は展示コーナーに展示しますので、ぜひご覧ください。



介護予防教室の紹介

◎当院における運動器機能向上プログラムの紹介

今泉 勝仁 リハビリテーション技術室主任理学療法士

当院は、湖西市の委託を受け介護予防事業を行っています。参加される皆様により元気になっていただくために、運動プログラムの見直しを日々行っています。その内容の一部を紹介させていただきます。

◎運動プログラムの紹介

①体調チェック

②準備運動(写真1)

理学療法士が関節、筋肉の状態をチェックしながら準備運動を援助します。

③柔軟体操 自宅でも継続できる体操を指導します。



④運動パターンの学習

歩行時の不安定感を改善する目的で、いろいろな運動パターンの反復練習を行います。

⑤理学療法士による歩行訓練(写真2)

練習した動きを歩行訓練で安定させます。

⑥リラクゼーション訓練(写真3)

運動による不具合がないか理学療法士がチェックを行い、疲労した部位を整えます。

◎おわりに

平成23年度も介護予防教室に多数参加していただきありがとうございます。皆様のご意見をお聞きしながら、より良い運動プログラムを提供できるようスタッフ一同がんばります。



●(写真1)理学療法士による準備運動



●(写真2)介助歩行訓練



●(写真3)リラクゼーション訓練

管理栄養士がすすめる健康レシピ

Vol.

3

お祝い事が多い季節にぴったり。さっぱりして見た目にも春らしい一品をご紹介します。

菜の花の香り寿し

材 料
5人分

450kcal、塩分1.6g(1人分)

米	3カップ	砂糖	大さじ2
えび(むきえび)	100g	うすくちしょうゆ	小さじ2
菜の花	1束	塩	小さじ2/3
しらす干し	30g	酒	大さじ2
レモン(皮)	1個分	【A】ごま油	小さじ1
【合わせ酢】酢	1/3カップ	しょうゆ	小さじ2
レモンしぼり汁	大さじ3	みりん	小さじ1

1. 米は洗って、ザルにあげて水をきり、炊飯器に入れて水3カップを加えて炊く。
2. エビは塩を少々入れ茹でておく。ブラックタイガーなど大きなものは背わたをとって茹でておき、食べやすい大きさに切る。しらす干しは軽く茹でておく。
3. 菜の花は茹でて水をきる。3cmくらいに切り、ごま油で炒め【A】で味付けをする。
4. レモンは皮の部分をせん切りにする。(白い部分は苦味があるので除く。)
5. ご飯が炊きあがったら、合わせ酢を混ぜる。粗熱がとれたら、えび・菜の花・しらす干しを混ぜ、レモンの皮を散らす。

Point!

◎菜の花にはビタミンAが多く含まれています。ビタミンAは脂溶性のビタミンで油脂と同時に摂取することで体に吸収されやすくなります。◎しらす干しには鉄分が多く含まれていますが、そのままだとなかなか体に吸収されません。レモンに含まれるビタミンCは鉄を体に吸収しやすい形に変える助けをしてくれます。

市制施行40周年記念

市立湖西病院

健康まつり

平成24年 **3月17日** **土** 13:00～16:00

開催日 平成24年 **3月17日** **土** 13:00～16:00

内容

1階中央待合ホール

● **アンサンブルコンサート**
開催時間 13:00～14:30
 市内中学校(白須賀、湖西、新居中学校)の生徒による演奏

● **姿勢改善体操**
一免疫力を高める体作りのポイント
開催時間 15:00～16:00

ふたん姿勢が悪いと言われたことはありませんか？
 風邪がなかなか治らないことはありませんか？
 体は重くありませんか？
 姿勢と免疫力とは大きな関係があります。姿勢の取り方ひとつで呼吸や体温に影響を与え、結果自律神経の働きが改善します。
 健康法や病気の予防に興味のある方は、ぜひお越しください。

2階

● **簡易健康診断**
開催時間 13:00～16:00
骨密度測定 ▶ 骨密度を測定します。 **先着100人**
血管年齢調査 ▶ 血管の硬さと狭窄を調べ、血管年齢を推測・算定します。 **先着70人**
 ※当日12:45から正面玄関前で整理券を配布します(1人1枚まで)

● **栄養科のブース**
開催時間 13:00～16:00
 塩分濃度が違うすまし汁の飲み比べ体験ができます。エネルギーコントロール食品等のサンプルを配布します。(サンプルは無くなり次第終了とさせていただきます。)

● **展示コーナー**
開催時間 13:00～16:00
 当院で2月24日(金)に開催した院内合同研究発表会で職員が発表した内容をポスターで展示します。
 また、市民健康講座の様子を撮影したビデオもご覧いただけます。

看護師募集

正規職員及び臨時職員を随時募集しています!!

看護部では、「安全・安心・思いやりの看護の提供」を理念に掲げ、「この病院で良かった」といっていただける看護を目指しております。明るく元気な方、人の役に立つ仕事をしたいと思っている方、当院で働いてみませんか。

しばらく看護の仕事から離れていた方でも、教育体制を整えていますので、しっかりサポートしていきます。また、働きやすい様々な勤務形態も取り入れており、夜間や土曜日・日曜日だけの勤務なども可能です。院内保育設備も完備し、子育て中の方の相談にも応じており、育児短時間勤務制度を利用し工夫をして勤務していただけます。ぜひ一緒に働いてみませんか。

病院見学も実施しておりますので、ご遠慮なくお越しください。

問合せ先◎市立湖西病院管理課 TEL 053-576-1231